

健康経営優良法人 2024(ホワイト 500)に認定

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:横手喜一)は、経済産業省が創設した健康経営優良法人認定制度の大規模法人部門において、2024年3月11日に「健康経営優良法人 2024(ホワイト 500)」に認定されましたので、お知らせします。

健康経営優良法人は、2017年度から開始された制度で、経済産業省が日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を認定、公表するものです。当社では、2018年より7年連続で認定を受けており、2024年度は3520社がエントリーした中で、特に優良な上位500社を顕彰する「ホワイト 500」に認定されました。



本認定を受け、当社は「ポーラ・オルビスグループ健康経営宣言」のもと、個性・感受性豊かな人材で溢れる組織を目指し、これまで以上に従業員とその家族の健康づくりを推進してまいります。

ポーラ・オルビスグループ健康経営宣言

当社グループでは、従業員が健康であることが新しい価値を生み出すための源泉であるとともに、グループの持続的成長を支える基盤であると考え、2017年より「ポーラ・オルビスグループ健康経営宣言」を策定しています。

「ポーラ・オルビスグループ健康経営宣言」

ポーラ・オルビスグループにおける「健康」は
創業以来、お客さまに寄り添い、お客さまを想い、商品・サービスを提供してきた歴史を紡ぎ
未来に向けて、感受性のスイッチを全開にし、常に新しい価値を生み出すための源泉です。

従業員一人ひとりが健康であってこそ
他者を思いやり、また自分らしく、彩りに満ちた人生を送ることができると考えています。

ポーラ・オルビスグループでは、グループ理念を体現していくために
従業員の心身の健康を経営の重要課題として位置づけ
従業員とその家族とともに、健康づくりに取り組んでまいります。

グループ健康経営の近年の重点的な取り組み

1) 男女特有の健康課題に対する支援

多くの女性が活躍する当社グループでは、健康管理センターに婦人科医師を配置し、女性特有の症状に対する相談を受け付けているほか、オンライン面談の実施やリテラシー向上を目的としたセミナーを開催しています。また、プレゼンティーズム^{*1}の解消・抑制、ライフキャリアの充実を目的に、月経・更年期症状等の改善をサポートするフェムテックサービスを導入しており、2024年からは男性の更年期症状まで対象を拡げ、実証導入を進めています。

2) コラボヘルスによるグループ横断的健康増進活動

当社グループでは健康保険組合(以下、健保)と協業し、個人向けの健康管理支援ツールを起点とした参加型イベントの開催やヘルスケア動画の配信、セミナーを実施するなど、組織全体の健康的な生活習慣づくりを進めています。また特定保健指導についても、健保・各事業所が密に連携をとって実施し、2022年度の実施率は74.6%(従業員のみ対象)と高水準となっています。

▶ポーラ・オルビスグループの健康経営活動について：<https://www.po-holdings.co.jp/csr/social/health/>

^{*1} プレゼンティーズム(presenteeism:疾病就業)とは、世界保健機関(WHO)が提唱した概念で、何らかの病気や症状を抱えながら働き、集中力や意欲といったパフォーマンスや生産性が低下している状態です。

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室

広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。